

◆ 明蓬館高等学校(私立)

○受講生徒: 単位制普通科 11 名

○使用時間: 2コマ(50 分×2)

○充当教科: 現代社会

○授業のねらい: ・公的医療保険、年金の仕組みの基本を理解する  
 ・グループワークを通して社会保障のあり方、必要性を理解する

○使用教材: ①映像教材

②身近な社会保障ワークシート

③理念やあり方ワークシート

【1限目】

展開	内容	使用教材
2 分	オリエンテーション ・授業の進め方、および主に学習する2つの制度(公的医療保険、年金)を提示	
25 分	映像教材の視聴	映像教材
13 分	・映像教材の振り返り(生徒を指して質問、老後にしたいことなど) ・1ページ目「社会の一員として生きていくこと」の(1)「家計のやりくり」について各生徒で取組むように指導する。節約型、普通型、贅沢型のどれを選ぶか考えさせた。 ・教員が各生徒の机を周り、生徒の意見や質問を聞きながらアドバイスを行った。 ・上記3パターンの家計の結果を示し、生徒の選択をヒアリングした。 ・続いて(2)、(3)についても考えさせ、生徒を指しながら答えさせ、アドバイスを行った。	身近な社会保障ワークシート
10 分	・2ページ目「わたしたちの生活と社会保障」の解説を行った。 ・3ページ目「ライフサイクルでみた社会保障の給付と負担のイメージ」の構造について、生徒を指しながら給付と負担の関係を解説した。 ・4ページ目「高校生として必ずおさえておきたい“年金の基礎知識”」の国が集めた年金の配分の流れについて解説した。さらに、教員の体験も踏まえ、年金等を払い始めるタイミング、猶予・免除制度と制度を利用した場合の給付の関係を補足した。	身近な社会保障ワークシート

【2限目】

展開	内 容	使用教材
4 分	<p>・5ページ目「公的年金のメリット」について、将来の物価上昇などのリスクにも対応できることなど、預金との違いを解説した。</p>	身近な社会保障ワークシート
14 分	<p>・1ページ目「『社会保障』に関する“高校生クイズ”」をもとに、生徒を指して、Q1、Q2に答えさせた。健康保険が3割負担であることなど重要なポイントを解説した。</p> <p>・給付と負担のバランスについて、板書をしながら各ポジションがどういう意味があるのか解説したのち、各チーム（男子チーム、女子チームの2チーム）でグループワークによりどのような仕組みが望ましいか検討させた。両チームの代表が検討結果を板書して発表する（男子チームは意見がまとまらず、全員の考えを発表した）。</p> <p>・各チームより、なぜそのような選択をしたか理由を発表した。</p>	<p>理念やあり方ワークシート</p> <p>※グループワーク</p>
16 分	<p>・2ページ目「『社会保障制度』を整理してみよう。」冒頭の空欄部分について、生徒を指しながら進めた。さらに社会保障制度を支える主体（政府、国民、市場）の関係の概要を解説した。</p> <p>・3ページ目「日本の税金や社会保険料は高い？低い？」について、グラフから読み取れる内容を解説し、国際比較における日本の位置・他国との違いを、板書をしながら解説した。</p>	理念やあり方ワークシート
24 分	<p>・4ページ目「『社会保障制度』…国によって様々なパターンがある。」について、板書をしながら解説し、後段の「あなたの考えは？」についてグループで検討させ、両チームの結論を発表した。</p> <p>・各チームより、なぜそのような選択をしたか理由を発表した。</p> <p>・教員より全体の講評、今後も考えていくことの重要性について解説した。</p>	<p>理念やあり方ワークシート</p> <p>※グループワーク</p>
2 分	アンケートの記入を行って終了した。	

(参考)授業を担当した教師や受託会社の授業後の感想(「地域社会保障推進事業実施報告書」より)

<p>効果的だったと思われる点</p>	<p>○授業の冒頭にまず、「2大テーマ」として年金と公的医療保険を示した上で、早めにDVDの視聴に入ることで、スムーズに社会保険の概要が理解できたと思われる。生徒の意見としてもDVDがわかりやすかったという声があった。</p> <p>○教諭から生徒に問いかけをしながら授業が展開されたことで、生徒の集中が継続していたと思われる。例えば、「身近な社会保障」ワークシートにおける「わたしたちの生活と社会保障」の解説において、生徒にも経験のある「予防接種」や教諭の実生活における育児と児童手当の給付などを例にして話しながら、生徒の経験を思い起こさせて社会保険の具体的なイメージを喚起させるように授業を展開した。また、社会保障の負担と給付の関係を時系列で示したグラフの解説では、どこから給付が増えてくるのか問いかけ、生徒に答えさせることで、グラフから読み取れる意味を確認しながら授業を進めていた。その結果、事前アンケートでは、社会保障に関心が「高い」・「やや高い」を選んでいる生徒はいなかったが、事後アンケートでは過半数の6人が関心をもつようになった。</p> <p>○グループワークを導入したことにより、自分の将来の生活との関係で、社会保障の負担とサービスの関係がどのようなバランスであるべきか、また、「社会保障のあり方」について、理解を深めることができたと思われる。アンケートでも社会保障は必要だとの生徒の声があった。</p>
<p>問題点等</p>	<p>○弊社で検討した授業展開案では、DVD教材を視聴した上で、ワークシートを2つ使用し、かつ、グループワークを導入する方法としたため、全体的に「急ぎ足」の授業になってしまった。教諭の意見としても「時間が足りない」という指摘があり、生徒の声としても「もっと深く勉強したい」という声があった。DVD教材を視聴する場合には、ワークシートは1つに絞った方が、グループワークなどで生徒にじっくり考えさせることができたと思われる。</p>